CIRCUIT BOARD

Patent Number:

JP5235679

Publication date:

1993-09-10

Inventor(s):

KAWABATA SADAYUKI; others: 01

Applicant(s):

MURATA MFG CO LTD

Requested Patent:

Application Number: JP19920035057 19920221

Priority Number(s):

IPC Classification:

H03H7/01; H05K1/02

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To improve noise elimination capacity by preventing the filtering characteristic of a noise elimination filter from deteriorating due to grounding when the ground part of the noise elimination filter is grounded.

CONSTITUTION: The ground part 3a of the noise elimination filter 3 is connected to a filter ground pattern 4, and also, the ground part 2a of a circuit element 2 nearest to the filter 3 is connected to the pattern. Furthermore, the ground part 2a is connected to ground patterns S, G for circuit element to ground another circuit element including the element 2 formed on the surface side of a circuit board 1, respectively. Also, the filter 3 and the signal input/output part 3b of the element 2 are connected to the pattern on the surface of the board 1. Ground impedance can be reduced in the filter 3 by employing such structure, and the noise elimination capacity of the filter 3 can be improved, and also, the influence of fluctuation in the ground potential of the filter 3 due to the signal of another circuit, etc., can be improved, and thereby the filtering characteristic is stabilized.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-235679

(43)公贿日 平成5年(1993)9月10日

(51) Int.CL⁶

識別配号

庁内整理番号

F I

技術表示循所

HO3H 7/01

2 8321 -5 J

H 0 5 K 1/02 P 7047 - 4E

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出戰爭号

特爾平4-95057

(22)出頭日

平成4年(1992)2月21日

(71)出職人 000006231

株式会社村田製作所

京都府長岡京市天神二丁目26番10号

(72) 発明者 川端 定行

京都府長岡京市天神二丁目26番10号 株式

会社村田製作所内

(72) 発明者 坂本 辛夫

京都府長岡京市天神二丁目26番10号 株式

会社村田製作所内

(74)代理人 弁理士 岡田 和秀

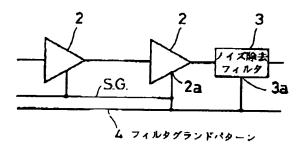
(54) 【発明の名称】 回路基板

(57) 【藝約】

【目的】 ノイズ除去フィルタの除去能力を向上させる ことを目的とする。

【構成】 回路基板の複数のグランドパターンの少なくとも1つを、ノイズ除去フィルタ用のフィルタグランドパターンとし、このフィルタグランドパターンに、ノイズ除去フィルタのノイズ源側の直近の回路来子のグランド部を接続するようにしている。

【効果】従来例に比べてグランドインピーダンスを低減 できるともに、他の回路の信号などによる影響を改善で き、ノイズ除去フィルタの除去能力を向上させることが 可能となる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 両面ブリント基板の片面あるいは複数層基 板の少なくとも1つの層を、ノイズ除去フィルタ用グラ ンドパターン (フィルタグランドパターン) とし、その パターンにノイズ除去フィルタのグランド端子を接続す るとともに、このノイズ除去フィルタのノイズ派側に進 近の回路来子のグランド部が、前記フィルタグランドバ ターンに接続されていることを特徴とする回路基板。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、トランジスタ、IC等 のような回路素子と、この回路素子から発生している電 磁気ノイズを除去するためのノイズ除去フィルタとが搭 載される回路基板に係り、さらに詳しくは、この回路素 子とノイズ除去フィルタそれぞれのグランド部をグラン ドすることに関する。

[0002]

【従来の技術】【Cとかトランジスタなどの回路素子は いわゆる電磁気ノイズを発生するために、それらがデジ タル回路として組み込まれてある電子機器においては、 その電磁気ノイズで誤動作を起こし易いことは一般によ く知られている.

【0003】そのため、回路基板にはこのような戦磁気 ノイズの発生調ともなる回路系子が搭載されてある場合 では、その誤動作を防止し、そのデジタル回路の動作上 の信頼度を高めさせるうえでこれと同じ回路基板に、か かる電磁気ノイズを有効に除去するためのノイズ除去フ ィルタが実装される。

[0004]

電磁気ノイズの発生源となる回路索子はそのグランド部 をグランドさせる必要があり、同様にノイズ除去フィル 夕もそのグランド部をグランドさせる必要がある。

【0005】このようなグランドでの問題を図5を参照 して説明する。すなわち、阿図のようにICやトランジ スタなどの回路素子2のグランド部2 a をグランドさせ るための回路未子用グランドパターンS、Gを、ノイズ 除去フィルタ3のグランド部3aをグランドさせるグラ ンドパターンに共用してある構造においては、ノイズ除 去フィルタ3のグランド部3aと、これに直近の回路索 40 子2のグランド部2aとの間のグランドパターンに存在 する抵抗成分とかインダクタンス成分といったグランド インピーダンス10がノイズ除去フィルタ3のフィルタ 特性に大きな影響を及ぼしてしまう結果となり、ノイズ 除去能力が下記のように劣化させられてしまうことがあ ろ.

【0006】例えば、このノイズ除去フィルタ3の本来 のフィルタ特性が図 6 の実線Aで示されるようなもので あるとした場合に、そのグランドインピーダンス10の

うな共振点を有するものとなって、高周放城でのフィル 夕特性が大きく劣化させられてしまうことになる。

【0007】また、このようなノイズ除去フィルタ3の グランドの電位は、他の回路の個号によって変動した り、ノイズ除去フィルタ自身のリターン電流によっても 変励したりするために、フィルタ特性が安定しにくいと いう難点がある。

【0008】したがって、本発明においては、ノイズ除 去フィルタのグランド部をグランドする場合に、そのグ 10 ランドによってノイズ除去フィルタがフィルタ特性を劣 化させてしまうことのないようにし、これによってその 本来のノイズ除去能力を十分に発揮できるようし、併せ てフィルタ特性を安定させることを目的としている。

【課題を解決するための手段】このような目的を達成す るために、本発明においては、両面プリント基板の片面 あるいは複数層基板の少なくとも1つの層を、ノイズ除 去フィルタ用グランドバターン(フィルタグランドバタ ーン)とし、そのパターンにノイズ除去フィルタのグラ ンド端子を接続するとともに、このノイズ除去フィルタ のノイズ源側に直近の回路素子のグランド部が、前記フ ィルタグランドバターンに接続されている。

[0010]

[0009]

【作用】上配梢成によれば、ノイズ除去フィルタのグラ ンド部は、ノイズ除去フィルタ用のグランドパターン (フィルタグランドパターン) にグランドされており、 また、このノイズ除去フィルタのノイズ源側に直近の回 路電子のグランド部が、フィルタグランドパターンに接 続されているので、グランドインピーダンスを低減でき 【発明が解決しようとする課題】ところで、このような 30 るとともに、他の向路の信号などによるグランドの電位 の変動の影響を改善できることになる。

[0011]

【実施例】以下、図面によって本発明の実施例につい て、詳細に説明する。

【0012】図」は本発明の一実施例に係る同路基板の 要部を裏面側から見た平面図であり、図2は図1の回路 基板の切断面線A-A'における断面図である。

【0013】回路基板1には、ICとかトランジスタな どの電磁気ノイズ発生源となる回路素子2と、この電磁 気ノイズを除去できる、EMI型のノイズ除去フィルタ 3とが搭載されている。回路基板1の裏面側には、ノイ ズ除去フィルタ3のグランド部をグランドするためのフ イルタグランドパターン4がスクリーン印刷などで形成 されている。

【0014】このフィルタグランドパターン4にはノイ ズ除去フィルタ3のリード端子状のグランド部3aがス ルーホール5gを介して半田付けで接続されているとと もに、これらノイズ除去フィルタ3に直近の回路兼子2 のリード端子状のグランド部2aが、同じくスルーホー **影響によって、そのフィルタ特性が破線Bで示されるよ 60 ル5aを介して半田付けで接続されている。さらに、こ**

の回路素子2のグランド部2 a は、回路基板1の表面側に形成されている該回路案子2を含む他の回路素子それぞれをグランドするための回路素子用グランドパターンS.G.にも接続されている。また、ノイズ除去フィルタ3および回路案子2の信号の入出力部3 b は、他のスルーホール5 b を介して回路基板1 表面のパターンに接続されている。なお、上配回路基板1に搭載された回路案子2とノイズ除去フィルタ3は回路的には図3に示されるようになっている。

.3

【0015】上記構造のノイズ除去フィルタ3では、そ 10 れ用のグランド部3aが電磁気ノイズ発生源となる回路素子2のグランド部2a用の回路素子用グランドバターンS.G.とは別のフィルタグランドパターン4にグランドされており、また、このノイズ除去フィルタ3のノイズ証側に直近の回路索子2のグランド部2aが回路案子用グランドパターンS.G.のみならず、フィルタグランドパターン4にも接続されている結果、グランドインピーダンスが低減されてノイズ除去フィルタ3のノイズ除去能力を向上させることができ、また、他の回路の信号等によるノイズ除去フィルタ3のグランド電位の変動 20 の影響が改善されてフィルタ特性が安定することになる。

【0016】なお、従来例のノイズ除去フィルタのフィルタ特性と本発明のノイズ除去フィルタのそれとを図4に比較して示す。ここで図の(A)は、従来例のグランドバターンによるノイズフィルタレベルを示し、(B)は、本発明のグランドパターンによるノイズフィルタレベルを示している。この図から明らかなように本発明による回路基板に搭載されてあるノイズ除去フィルタの方が、従来例のそれに比べてノイズ除去能力が大幅に向上 30している。

【0017】なお、上述の実施例では、回路基板として は両面タイプのものに適用して説明したけれども、本発 明は、かかる両面タイプのみならず、両グランドパター ンを爆設したような多層タイプのものにも同様に適用で きるとともに、フィルタグランドパターンも図のような 一層タイプのものに限定されるものでないことは勿論で ある。

【0018】さらに、上述の実施例では、ノイズ除去フィルタとしてEMIタイプについて説明したけれども、本発明は、このようなEMIタイプに限定されるものではなく、他のノイズ除去フィルタにも適用できるものである。

[0019]

【発明の効果】以上のように本発明によれば、グランドパターンが複数形成されてその少なくとも1つが、ノイズ除去フィルタ用のグランドパターン(フィルタグランドパターン)とされているとともに、このノイズ除去フィルタのノイズ派側に直近の回路衆子のグランド部が、前記フィルタグランドパターンに接続されているので、従来例に比べてグランドインピーダンスを低減できるとともに、他の回路の信号などによるグランドの電位の変動を改善できることになり、ノイズ除去フィルタのノイズ除去能力が向上するとともに、フィルタ特性も安定することになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は本発明の一実施例のグランドパターンを示す図である。

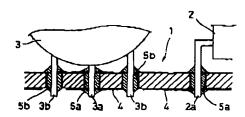
【図2】図1の切断而線A-A'から見た断面図である。

- 【343】図1の実施例の配線方式を示す図である。
- 【図4】本発明のノイズ除去効果を示す図である。
- 【図5】従来例の配線方式を示す図である。
- 【図6】従来例のフィルタ特性を示す図である。

【符号の説明】

- 1 原路基板
- 2 回附添予
- 3 ノイズ除去フィルタ
- 4 フィルタグランドパターン

[図2]



[図3]

